

令和 8 年産金のいぶき栽培検討会を実施いたしました。

令和 8 年 8 月 17 日（月）宮城県登米市登米町にて、令和 8 年産金のいぶきの生育状況確認、情報共有のため、現地栽培検討会を開催いたしました。

当協会尾西洋次会長のほか、理事や事務局員、金のいぶき生産者などが参加して圃場をまわり、各圃場の生育状況について意見交換を行いました。



登米町の圃場にて



金のいぶきの収穫量は、令和 6 年産、令和 7 年産ともに異常高温による穂発芽被害の影響で広範囲で減少し、商品の流通や販売に大きな影響を与えました。

本年の生育状況については、出穂にばらつきがあるほか、7 月後半以降は雨が多く、日照時間の不足が心配されているものの、現時点ではおおむね良いということです。



中央：（一社）未来のタネ研究所 永野 邦明 先生



一般社団法人 未来のタネ研究所 永野邦明先生からのご意見もいただき、今後の栽培方法や適切な刈取り時期の判断材料を得るための大変貴重な機会となりました。